

等電位ボンディング金物

等電位ボンディング

雷保護システム (LPS)、金属構造体、金属性工作物、系統外導電性部分、露出導電性部分、被保護物内の電力及び通信用設備をボンディング用導体で接続することを等電位ボンディングと称します。

建築構造体の金属部分、水、暖房などの金属配管設備、絶縁されていない床及び壁などは直接ボンディングをとります。また、電力線や信号線、電話線など電圧がかかっていて直接接続できないものは、サージ防護デバイス (SPD) を用いてボンディングします。電気防食を行っているガス管も電圧をかけているので同様に絶縁ギャップ式 SPD を用いて接続します。

構造体の鉄骨及び鉄筋を引下げ導体として利用する場合、又は、接地極として使用する場合には、鉄筋・鉄骨間が確実に接続されていなければなりません。この接続に等電位ボンディング金物を使用します。

※サージ防護デバイス (SPD)、絶縁ギャップ式 SPD については、弊社の内部雷保護システムカタログをご参照下さい。

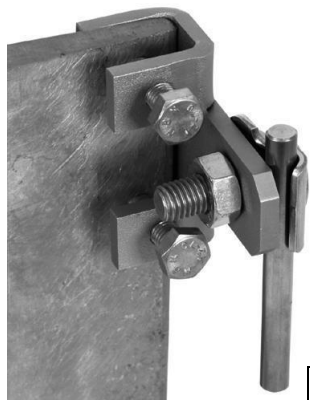
等電位ボンディングの構成

雷保護等電位ボンディングは、以下のものを接続 (充電線は雷の瞬間のみ接続) することによって構成されます。

- ・雷保護システム 雷保護システムを構成する受雷部・引下げ・接地導体
- ・金属構造体 建築物を構成する金属構造体
- ・金属製工作物 建築物内及び屋上で構成される金属部分
- ・系統外導電性部分 金属製工作物の一部で主に水道管やガス管
- ・電力設備 電力ケーブル
- ・通信設備 通信ケーブル (弱電・0A)



コンクリートに埋め込まれた導体の接続



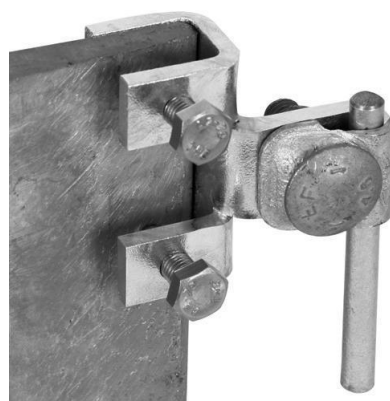
鉄骨クランプ



MVクランプ



BSクランプ



鉄骨クランプ